

インターネット情報の見方について

下松サイバー防犯ボランティア

新型コロナウイルスが流行する中、健康に気をつけて過ごしていると思います。

さて、インターネットでは、新型コロナウイルスに関する情報をはじめ、いろんな情報が流れていますが、中にはその情報が掲載されているサイトがあります。

うその情報をうのみにしたり、拡散することによって、自分がさまざまな被害を受けるだけでなく、まわりの人にも被害を与え、傷つける恐れがあります。

そのようなことにならないように、インターネットの情報を見るときには、以下のことに気をつけましょう。

い・・・いつ情報が発信されたかを確認する。
(情報が古くて使えないものではないか。)

な・・・何のために情報が発信されているのかを確認する。
(サイトのタイトルや文章を読んで確認。)

か・・・書いた人が誰かを確認する。
も・・・元ネタ(元となる情報)は何かを確認する。
(書いたのが公的機関などの信頼できるものか。
また、データについてはどこから出ているかを確認する。)

ち・・・違う情報と見比べる。
(1つの情報だけをうのみにせず、いろんな情報と見比べる。また、インターネットだけでなく、新聞や本なども活用する。)

＊「い・な・か・も・ち」で覚えると覚えやすいです。



＊「かわいいフリー素材集 いらすとや」
より引用。 <https://www.irasutoya.com/>

＊参考文献

「PRESIDENT 2017年7月17日号～1%の人しか知らない『スマホ&ネット』すごい活用術～」(プレジデント社 2017年)

こんなことにも注意しましょう！！

☆新型コロナウイルスにかかわるインターネット詐欺

スマートフォンに「マスクを無料で送付する」「マスクが買える」などというメッセージを送り、メッセージに記されている URL にクリックさせて、個人情報や口座情報などをだまし取ろうとする事例が発生しています。

【対策】

不審なメールがきても無視し、メッセージに記されている URL をクリックしないようにしましょう。また、不安のある場合は、最寄りの警察署や消費生活センターなどに相談しましょう。

☆インターネット上にその情報を書きこまない！！拡散しない！！

「**業務妨害罪**」などに問われ、損害賠償請求される恐れがあります。

☆インターネット上に誹謗中傷、悪口を書きこまない！！拡散しない！！

「**名誉棄損罪**」「**侮辱罪**」に問われ、損害賠償請求される恐れがあります。

また、新型コロナウイルスに感染した方やそのご家族の方などの周囲の方に対する誹謗中傷や悪口がインターネット上に書き込まれるということも発生しています。このような人権侵害にあたることは決して許されるものではありません。

☆インターネットを活用するときは・・・

インターネット上でのやりとりは、お互いの顔が見えないものです。それだけに、インターネットを活用するときは、常に「**思いやり**」の気持ちを忘れないようにしましょう。

また、一度インターネット上に書き込んだ情報は完全に消すことができません。書き込む前に、書き込んでいい情報なのかどうか、ひと呼吸おいて確認するように心がけましょう。

下松サイバー防犯ボランティアとは・・・？

下松サイバー防犯ボランティアは、山口県警察からの委嘱を受けて、下松市内の学校での講演、サイバーパトロールなどを通じて、メディアリテラシー育成の啓発活動、インターネット空間の浄化活動に取り組んでいる防犯ボランティアです。

【お問い合わせ先】

下松警察署 生活安全課

電話番号 ０８３３－４４－０１１０

